

Art Watching

アートウォッチング

そして、龍は舞い降りた
—古代中国の神獣画像—

Auspicious Omens :
Fantastic Animal Designs
of Ancient China



双龍 車馬出向

Dragons and Regal Procession

画像石拓本
中国

後漢 後1~3世紀

Rubbing Impression of Stone Carving
China

Eastern Han Dynasty, 1st-3rd century CE



互いの尾を銜えながら向き合う二匹の龍。陰陽の調和を表す構図です。約二千年前の後漢の時代に、墓地入り口の門柱や、地上の祠堂、地下墓室などの天井、壁、柱、床などを構成する石材の表面に刻まれたものです。これらの石材は、画像が彫刻されていることから画像石と呼ばれます。

龍の出現はめでたいしるし(祥瑞)として、漢代にさかんに記録されました。下段は貴人を乗せた馬車の到着。出迎えの人物は深々と礼をしています。見事な馬の描写は漢代画像石の見どころです。

企画展からの一点です。

Han artists were extremely skilled at animal representation, both real and imaginary.

Two dragons curl up and face each other, forming a perfect balance of yin-yang. Rubbings like this were taken from engraved stone slabs that embellished the ceiling, walls, and doors of tomb chambers and offering shrines of the Han dynasty.

The Dragon was the king of beasts whose appearance on earth was Heaven's confirmation of a virtuous ruler.

福原庸子 Yasuko Fukuhara



企画展

そして、龍は舞い降りた
—古代中国の神獣画像—

Special Exhibition
“Auspicious Omens : Fantastic Animal
Designs of Ancient China”

2004年9月18日(土)~12月5日(日)
Saturday, Sept. 18-Sunday, Dec. 5, 2004

会場 3階企画展示室
入館料 一般 ¥200
小・中学生 ¥100
Admission ¥200 for adults
¥100 for primary and
junior high school students

2階常設展示室や4階横浜都市発展
記念館とのセット券もあります。
ご利用下さい。

Gallery Talk ギャラリートーク

漢代の美術 — 常設展示室から —

Han-Dynasty Art : From Our Permanent Exhibition

およそ二千年前に栄えた中国漢王朝の美術は、躍動感に満ちた動物表現が魅力です。これらの瓦当に見られるように、動物文は単なる飾りではなく、象徴的に用いられていました。

中国の古代に発祥する四つの方位を表す象徴的動物、四神。東は青竜、南は朱雀、西は白虎、北は玄武が守ります。天空の星座を動物にみたと、五行思想の色を配しており、古代中国の宇宙観が感

じとれます。後漢時代には、画像石などにもさかんに表されました。

日本へも、飛鳥時代には伝えられていたと考えられ、高松塚古墳やキトラ古墳の壁画などにそれを見ることができます。



中国
前漢
紀元前3~2世紀
China
Western Han Dynasty,
3rd-2nd century BCE

玄武文瓦当拓本

Snake and Turtle (Black Warrior)

朱雀文瓦当拓本

Phoenix

中国
前漢
紀元前3~2世紀
China
Western Han Dynasty,
3rd-2nd century BCE



玄武は、亀と蛇とのからみ合った図像です。鳳凰は中国の伝説上の霊鳥で、四神では南の守護神朱雀となりました。天下太平の時にその美しい姿を現すとされた鳳凰は、特に漢代以降さかんに出現するようになります。

瓦当とは、軒丸瓦の先端に文様をつけた部分を指します。

These are rubbings from Han-dynasty roof tiles decorated with a design of “Black Warrior” and “Red Phoenix.” “Black Warrior” is the guardian of the north. “Red Phoenix” is the guardian of the south. Phoenix in Chinese mythology is an auspicious omen that testifies to the greatness of a ruler and to his peaceful reign.

Rubbings are made by pressing paper onto an incised surface and tapping the paper with a cloth ball soaked in ink.

福原庸子 Yasuko Fukuhara

ユーラシア大陸と日本

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

私達の先祖は古来中国や朝鮮(韓)半島のみならず、広大なシベリアの森の狩猟採集民、草原の遊牧民、そして絹の道(オアシスルート)を通じて中央アジアや西アジアの胡人達からも多くの文化といくばくかの血を受け入れてこの国を形作って来た。これら地域の多彩な文化は横浜ユーラシア文化館のユニークな展示と江上波夫先生の研究の成果が如実に示している。

現在この地域では石油・天然ガスをはじめとする豊かな天然資源をめぐり大国間で争奪戦が行われている。16世紀以降シベリアの主となったロシア人も含め、人々は伝統を守りつつも、独裁と腐敗、富の偏在と失業、テロ、民族紛争等の問題が山積する中、懸命に国造りと民主化に取り組んでおり、日本が官民こぞって進める支援は政治的野心の無い真の友情として感謝されている。

日本の外交は今や国民に開かれ、その支持を得たものでなければならない。そしてそれは目先の国益のみに捕われなない、当該国・地域の民族や文化に対する深い理解に基づいたものであることが肝要である。

対ユーラシア外交を進めるに際して、横浜ユーラシア文化館の果たす役割は大きい。12月に当館で皆様とウラジオストクからイスタンブルまでユーラシアの過去と現在の旅をさせて頂けるのは幸せである。



ウラジオストクのディナーテーブル
Dinner table in Vladivostok. Photograph by Yuki Kobayashi



イスタンブルのパザールにて
Grand bazaar in Istanbul. Photograph by Hanako Katayama

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

元駐アゼルバイジャン大使。現在國學院大学法学部講師。

Retired ambassador. Lecturer of Kokugakuin University.

1963年外務省入省以来、2002年退官までアメリカ、カナダ、ユーラシアの各国で勤務。特に西アジア(トルコ11年、イスラエル2年)、CIS(ロシア4年、アゼルバイジャン2年)の勤務が長く、ソ連邦崩壊後の激動のユーラシア大陸を目の当たりにしてきた。

2004年12月、横浜ユーラシア文化館にて講演会「外交官と行くユーラシア—ウラジオストクからイスタンブルまで」(全3回)開催予定。

The regions of northern, central and western Asia have rich traditional cultures as shown by the exhibits of the Yokohama Museum of EurAsian Cultures and the works of the late Prof. Namio Egami, as well as rich mineral resources such as petroleum and natural gas which attract the interests of world powers. The peoples are struggling for

nation-building, democratization, elimination of poverty, corruption and terrorism and solution of ethnic conflicts.

Japan's Eurasian diplomacy should be based on the profound understanding of both current situations and traditional cultures of these regions. For the latter the role of the Museum is immeasurably important.

Special Exhibitions and Events

展覧会・イベントのご案内

企画展 Special Exhibition 3F

そして、龍は舞い降りた

—古代中国の神獣画像—

“Auspicious Omens : Fantastic Animal Designs of Ancient China”

2004年9月18日(土)~12月5日(日)

Saturday, Sept. 18-Sunday, Dec. 5, 2004

特別公開 Feature Exhibit 2F

モンゴルの白樺文書

—樹皮にしるされた草原の記録—(仮称)

“Mongolian Birch-Bark Manuscripts”

2004年10月30日(土)~11月7日(日)

Saturday, Oct. 30-Sunday, Nov. 7, 2004

1999・2002年にモンゴルで出土した白樺樹皮文書を世界に先駆けて展示公開します。Introducing the Birch-Bark Manuscripts excavated in Mongolia in 1999 and 2002.

講演会 Lectures 3F

外交官と行くユーラシア

—ウラジオストクからイスタンブルまで—

“A Journey to Eurasia with a Diplomat : From Vladivostok to Istanbul”

講師：廣瀬徹也

By Tetsuya Hirose (In Japanese)

2004年12月11日(土)、12月18日(土)、

12月25日(土) 各回14:00~16:00

Saturdays, Dec. 11, 18, 25, 2004 14:00-16:00

会場 横浜ユーラシア文化館3階

受講料 1500円(全3回分) 定員70名

住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、11月26日までに往復はがきでお申し込み下さい(当日消印有効、1通につき1名様のみ)。お申し込み多数の場合は抽選になります。

[申し込み・お問い合わせ]

〒231-0021 横浜市中区日本大通12

横浜ユーラシア文化館講演会係

Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453

企画展 2005 Special Exhibition 3F

古代エジプトへの扉

—菊川コレクション世界初公開—(仮称)

“Introducing Ancient Egyptian Art from the Kikugawa Collection”

2005年4月29日(金・祝)~8月14日(日)(予定)

Friday, Apr. 29-Sunday, Aug. 14, 2005

New! 1階ミュージアムショップに新しいグッズが仲間入り。ぜひご利用下さい。



ポストカードブック『そして、龍は舞い降りた—古代中国の神獣画像—』
Postcard Book ISBN4-902282-02-X C0017 ¥1000
Auspicious Omens : Fantastic Animal Designs of Ancient China



絵葉書 Postcard 各¥100



クリアファイル Art Folder 各¥200

横浜ユーラシア文化館出版物の通信販売を始めました。詳しくはホームページをご覧ください。
Visit our website and browse around. www.eurasia.city.yokohama.jp/

利用案内 Visitor Information

横浜ユーラシア文化館

Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
12 Nihon Odori, Nakaku, Yokohama, Japan 231-0021
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

開館時間 9:30 a.m.~5:00 p.m.
(入館は4:30 p.m.まで)
休館日 毎週月曜日・年末年始他
入館料 一般200円
小・中学生100円
4階の横浜都市発展記念館とのセット料金あり
毎週土曜日は小・中学生、高校生無料。
[障害者手帳]、横浜市の「長寿のしおり」等をお持ちの方には、入館料の減免制度がありますのでお尋ね下さい。

Hours 9:30 a.m.~5:00 p.m.
(Admission until 4:30 p.m.)

Closed Mondays and year-end/
New Year's recess

Admission ¥200 for adults
¥100 for primary and junior high school students



Map in English → Website

交通アクセス
みなとみらい線日本大通り駅3番出口から徒歩0分
JR関内駅南口・市営地下鉄関内駅1番出口から徒歩約10分
Zero min. walk from Nihon Odori Sta.on the Minato Mirai Line.
10 min. walk from Kannai Sta.on the JR Line or Municipal Subway.

次号予告 Next Issue

2005年展示予定の菊川コレクションから、古代エジプトの美をご紹介します。
Featuring the 2005 special exhibition "Introducing Ancient Egyptian Art from the Kikugawa Collection."

News from EurAsia No.2
横浜ユーラシア文化館ニュース第2号
企画・編集・発行 横浜ユーラシア文化館 2004年9月15日
デザイン(株)オフィスエルク
印刷製本/ツルミ印刷株
禁無断転載
©2004 Yokohama Museum of EurAsian Cultures

News from EurAsia

横浜ユーラシア文化館ニュース

■ 目次 Contents

アートウォッチング p.2

Art Watching
そして、龍は舞い降りた—古代中国の神獣画像—
Auspicious Omens : Fantastic Animal Designs of Ancient China

ギャラリートーク p.4

Gallery Talk
漢代の美術—常設展示室から—
Han-Dynasty Art : From Our Permanent Exhibition

ユーラシア大陸と日本 p.6

Eurasian Continent and Japan
廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

展覧会・イベントのご案内 p.7

Special Exhibitions and Events

ミュージアムショップ p.8

Museum Shop

利用案内 p.8

Visitor Information

no. 2